

産業廃棄物処理計画書	
令和 8 年 6 月 15 日	
佐賀県知事 殿	
提出者 住 所 佐賀県鳥栖市藤木町字若桜5-3 氏 名 昭栄化学工業株式会社 鳥栖事業所 鳥栖事業所長 戸苅和弘 (法人にあつては、名称及び代表者の氏名) 電話番号 0942-82-6661	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第 1 2 条第 9 項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事 業 場 の 名 称	昭栄化学工業株式会社 鳥栖事業所
事 業 場 の 所 在 地	佐賀県鳥栖市藤木町字若桜5-3
計 画 期 間	令和8年4月1日～令和9年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事 業 の 種 類	16 化学工業
② 事 業 の 規 模	71, 010百万円 (令和6年度実績)
③ 従 業 員 数	508人 (令和6年7月1日時点)
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙の通り

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
(管理体制図)			
	EMS 管理 責任者	産業廃棄物管理プロセス 廃棄物管理責任者(兼プロセスオーナー)×1名 ・廃棄物管理責任者 鳥栖事業所×1名 糸島事業所×1名 ・廃棄物管理担当者 鳥栖事業所×1名 糸島事業所×1名	
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
①現状	【前年度（令和7年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙の通り	別紙の通り
	排 出 量	別紙の通り _t	別紙の通り _t
	(これまでに実施した取組)		
	・原料等の荷姿であるオープンドラムや一斗缶等の金属くずは、有価物として売却し、リサイクル原料化している。 ・人為的ミスや生産ロスが発生させない様、手順に従い作業を行っている。 ・排出量の著しい産廃に対して削減対策の社内協議を行う。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙の通り	別紙の通り
	排 出 量	別紙の通り _t	別紙の通り _t
	(今後実施する予定の取組)		
	・これまでの取組を継続していく。 ・生産量の増加に伴い、廃棄物全体の増加が見込まれるが、廃棄物抑制に向けて、廃液の抑制に連結する中間品の開発を進める。 ・不純物の少ない原料の採用、廃液の分別や処理の効率化による社内処理の促進により、廃棄物の抑制に取り組む。		
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 「廃棄物管理手順書」で、処理先や処理方法に応じて再資源化に支障をきたさない分別手順を定めて周知している。また、産廃置場には各種表示を設けている。		
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 現在の取組を継続していき、新規廃棄物の発生時には迅速かつ適正に対処する。		

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項				
①現状	【前年度（令和7年度）実績】			
	産業廃棄物の種類	別紙の通り	別紙の通り	
	自ら再生利用を行った 産 業 廃 棄 物 の 量	別紙の通り	別紙の通り	
		t	t	
	(これまでに実施した取組) 特になし			
②計画	【目標】			
	産業廃棄物の種類	別紙の通り	別紙の通り	
	自ら再生利用を行う 産 業 廃 棄 物 の 量	別紙の通り	別紙の通り	
		t	t	
	(今後実施する予定の取組) 特になし			
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項				
①現状	【前年度（令和7年度）実績】			
	産業廃棄物の種類	別紙の通り	別紙の通り	
	自ら熱回収を行った 産 業 廃 棄 物 の 量	別紙の通り	別紙の通り	
		t	t	
	自ら中間処理により減量した 産 業 廃 棄 物 の 量	別紙の通り	別紙の通り	
	t	t		
(これまでに実施した取組) 特になし□				
②計画	【目標】			
	産業廃棄物の種類	別紙の通り	別紙の通り	
	自ら熱回収を行う 産 業 廃 棄 物 の 量	別紙の通り	別紙の通り	
		t	t	
	自ら中間処理により減量する 産 業 廃 棄 物 の 量	別紙の通り	別紙の通り	
	t	t		
(今後実施する予定の取組) 特になし□				

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（令和7年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙の通り	別紙の通り
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	別紙の通り t	別紙の通り t
	(これまでに実施した取組)		
	特になし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙の通り	別紙の通り
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	別紙の通り t	別紙の通り t
	(今後実施する予定の取組)		
	特になし		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（令和7年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙の通り	別紙の通り
	全処理委託量	別紙の通り t	別紙の通り t
	優良認定処理業者への 処理委託量	別紙の通り t	別紙の通り t
	再生利用業者への 処理委託量	別紙の通り t	別紙の通り t
	認定熱回収業者への 処理委託量	別紙の通り t	別紙の通り t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	別紙の通り t	別紙の通り t
	(これまでに実施した取組)		
	・ 許可証及び契約書において、法的要求事項が満たされていることを確認の上、優良認定業者や再生利用業者を優先的に選定し、処理を委託している。		
	・ 業者の処理状況を確認する為、現地の視察を行っている。		
・ 電子マニフェスト上で、委託廃棄物の適正な処理状況を確認している。			

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙の通り	別紙の通り
	全 処 理 委 託 量	別紙の通り t	別紙の通り t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	別紙の通り t	別紙の通り t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	別紙の通り t	別紙の通り t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	別紙の通り t	別紙の通り t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	別紙の通り t	別紙の通り t
	(今後実施する予定の取組)		
	・現状を順守するとともに、委託先の選定は優良認定業者や再生利用業者を優先する。		
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

様式第二号の八(第八条の四の五関係別紙)
(第2面)

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項																	
①現状	【前年度（令和7年度）実績】																
	産業廃棄物の種類	汚泥	ガラス陶磁器くず	木くず	廃電池類	廃アルカリ	廃酸	廃プラスチック	廃油	廃電気機械器具	水銀使用製品産廃	合計					
	排出量	124.376 t	191.414 t	76.380 t	0.080 t	5642.050 t	2800.340 t	158.640 t	4.346 t	1.593 t	0.230 t	8999.449 t	t	t	t	t	t
②計画	【目標】																
	産業廃棄物の種類	汚泥	ガラス陶磁器くず	木くず	廃電池類	廃アルカリ	廃酸	廃プラスチック	廃油	廃電気機械器具	水銀使用製品産廃	合計					
	排出量	135.731 t	208.888 t	83.353 t	0.087 t	5595.564 t	3055.992 t	173.123 t	4.743 t	1.738 t	0.251 t	9259.471 t	t	t	t	t	t

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項																	
①現状	【前年度（令和7年度）実績】																
	産業廃棄物の種類	汚泥	ガラス陶磁器くず	木くず	廃電池類	廃アルカリ	廃酸	廃プラスチック	廃油	廃電気機械器具	水銀使用製品産廃	合計					
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	t	t	t	t	t
②計画	【目標】																
	産業廃棄物の種類	汚泥	ガラス陶磁器くず	木くず	廃電池類	廃アルカリ	廃酸	廃プラスチック	廃油	廃電気機械器具	水銀使用製品産廃	合計					
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	t	t	t	t	t

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和7年度）実績】																
	産業廃棄物の種類	汚泥	ガラス陶磁器くず	木くず	廃電池類	廃アルカリ	廃酸	廃プラスチック	廃油	廃電気機械器具	水銀使用製品産廃	合計					
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	t	t	t	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	t	t	t	t	t
②計画	【目標】																
	産業廃棄物の種類	汚泥	ガラス陶磁器くず	木くず	廃電池類	廃アルカリ	廃酸	廃プラスチック	廃油	廃電気機械器具	水銀使用製品産廃	合計					
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	t	t	t	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	t	t	t	t	t

様式第二号の八(第八条の四の五関係別紙)
(第4・5面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項																	
①現状	【前年度（令和7年度）実績】																
	産業廃棄物の種類	汚泥	ガラス陶磁器くず	木くず	廃電池類	廃アルカリ	廃酸	廃プラスチック	廃油	廃電気機械器具	水銀使用製品産廃	合計					
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	t	t	t	t	t	t
②計画	【目標】																
	産業廃棄物の種類	汚泥	ガラス陶磁器くず	木くず	廃電池類	廃アルカリ	廃酸	廃プラスチック	廃油	廃電気機械器具	水銀使用製品産廃	合計					
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	t	t	t	t	t	t
産業廃棄物の処理の委託に関する事項																	
①現状	【前年度（令和 年度）実績】																
	産業廃棄物の種類	汚泥	ガラス陶磁器くず	木くず	廃電池類	廃アルカリ	廃酸	廃プラスチック	廃油	廃電気機械器具	水銀使用製品産廃	合計					
	全処理委託量	124.376 t	191.414 t	76.380 t	0.080 t	5642.050 t	2800.340 t	158.640 t	4.346 t	1.593 t	0.230 t	8999.449 t	t	t	t	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	121.886 t	191.414 t	0.000 t	0.080 t	5642.050 t	2800.340 t	158.640 t	4.346 t	1.593 t	0.230 t	8920.579 t	t	t	t	t	t
	再生利用業者への処理委託量	102.550 t	0.000 t	0.000 t	0.080 t	3730.800 t	2544.270 t	30.400 t	0.000 t	0.000 t	0.230 t	6408.330 t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	21.826 t	191.414 t	76.380 t	0.000 t	1911.250 t	256.070 t	128.240 t	4.346 t	1.593 t	0.000 t	2591.119 t	t	t	t	t	t
②計画	【目標】																
	産業廃棄物の種類	汚泥	ガラス陶磁器くず	木くず	廃電池類	廃アルカリ	廃酸	廃プラスチック	廃油	廃電気機械器具	水銀使用製品産廃	合計					
	全処理委託量	135.731 t	208.888 t	83.353 t	0.087 t	5595.564 t	3055.992 t	173.123 t	4.743 t	1.738 t	0.251 t	9259.471 t	t	t	t	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	133.014 t	208.888 t	0.000 t	0.087 t	5595.564 t	3055.992 t	173.123 t	4.743 t	1.738 t	0.251 t	9173.400 t	t	t	t	t	t
	再生利用業者への処理委託量	111.912 t	0.000 t	0.000 t	0.087 t	3700.061 t	2776.544 t	33.175 t	0.000 t	0.000 t	0.251 t	6622.031 t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	23.819 t	208.888 t	83.353 t	0.000 t	1895.503 t	279.447 t	139.947 t	4.743 t	1.738 t	0.000 t	2637.439 t	t	t	t	t	t

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

④産業廃棄物の一連の処理工程

種類	名称	処理工程			
		中間処理		最終処分	
汚泥	MNP水溶液(汚泥)	焼却	→ サーマリサイクル →	残渣埋立	
	活性炭 他	焼却	→ サーマリサイクル →	残渣埋立	
ガラス陶磁器くず	ガラス類陶磁器類	加熱処理		残渣埋立	
	試薬瓶	破碎		資源化(土木資材)	
	蛍光灯	破碎		資源化(土木資材)	
木くず	木製パレット	破碎		資源化(木材・燃料・肥料)	
乾電池	乾電池	破碎	→ 熔融 →	資源化(鉄鋼製品原料)	
蛍光灯	蛍光灯				
廃アルカリ	総合廃液	中和	→ 固液分離 →	資源化(セメント原料)	
廃酸	Ni水溶液	中和	→ 固液分離 →	資源化(セメント原料)	
	Cu水溶液	焼却	→ サーマリサイクル →	残渣埋立	
	酢酸廃液	焼却	→ サーマリサイクル →	残渣埋立	
廃プラスチック	樹脂	焼却	→ サーマリサイクル →	残渣埋立	
	廃プラスチック	圧縮		資源化(プラスチック製品)	
	廃プラスチック(金属複合)	破碎		資源化(金属・プラスチック製品)	
	樹脂ドラム	焼却	→ サーマリサイクル →	残渣埋立	
	レントゲンフィルム	選別		資源化(銀回収)	
廃油	アルコール類	焼却	→ サーマリサイクル →	残渣埋立	
	ワニス類	焼却	→ サーマリサイクル →	残渣埋立	
	コンプレッサー廃油	濾過		資源化(セメント原料)	
廃情報器具	パソコン類	データ消去	→ 破碎 →	資源化(金属・プラスチック製品)	